

理事長あいさつ 施設長あいさつ	1
は〜と・ピア(生活介護) 日常風景	2・3
短期保護事業 研修報告	4
くっしょん 受講生募集	5
クラブ・すてっぷ スタッフあいさつ	6
フレンドルーム	7
えんじゅ祭り 寄付報告 編集後記	8



〒112-0012
東京都文京区大塚 4-21-8
電話：03-3943-4300
FAX：03-3943-4330
E-mail：
enju@tcn.catv.ne.jp

社会福祉法人 文京槐の会

<http://www.enjunokai.com>

しあわせの木

15号

【槐(えんじゅ)の木】 マメ科に属する樹木の名称です。その葉は殺菌に用いられるなど大切にされておき、「しあわせの木」とも呼ばれています。

理事長あいさつ

理事長 伊藤 達彦

皆様、良いお年をお迎えのことと存じます。昨年は、日本の気候史上歴史的と言っても過言ではない猛暑となり、これも地球温暖化の傾向かと不安を感じた記憶が消えやらぬところへ、尖閣諸島の領海騒ぎが発生したりで、大変騒がしく熱い1年間であったような気がします。

法人の事業につきましては、昨年4月から移動支援、居宅介護、相談支援がスタートしたわけですが、特に移動支援事業につきましては、事業実施前の文京区内の調査では短時間利用が中々困難との話がありました。既に文京区には移動支援事業者の登録が40余団体あったのですが、短時間利用には適時適切なサービスが提供されていないことがわかり、私共法人が移動支援事業に参入する意義があると判断しました。

事業開始と共に、確実に利用者が増え、年末までの利用実績も約3,000回と初年度としては良い成果が現われているものと理解しています。このような成果を上げるにあたっては、支援業務に携わってくださる支援員の大変な努力があります。

30分単位や1時間単位の短時間の

移動支援、早朝や夜間の移動支援、平日だけでなく、土曜、日曜、祝日も休まず支援業務に携わってくださった皆様には感謝の念で一杯でございます。また、事務方として支援業務を支えてくださった関係職員にもお礼を申し上げます。

昨年1年間は、法人の事業は総じて良い成果を上げることができたのではないかと思います。

改めて、関係者の皆様のご支援に感謝を申し上げますと共に、本年もご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



個人にとっての総合支援

施設長 江澤 嘉男

いま、障害者福祉制度は大きな変化を迎えようとしています。一昨年12月に誕生した「障がい者制度改革推進会議」は、今年8月には意見をまとめ、24年国会への法案提出を予定しています。

この中では、改革の基本として、障害者が日常生活や社会生活において受ける制限は、さまざまな社会環境との

相互作用や社会との関係性のあり方によって生ずるという考え方、いわゆる「社会モデル」の考え方を位置づけ、障害のある人が地域で自立した生活を営むことができる制度の構築を求めています。

このことは、私たちが取り組んできた様々な支援においても、非常に大きな意味を持ちます。とりわけ、昨年より実施してきた「くっしょん」や「あくせす」など、よりパーソナルな支援といわれる事業については、社会環境との調整役としての期待が強く求められるようになります。さらには、他の事業についても、単にいろいろなパーツとしての支援を繋げるだけではなく、利用される一人ひとりの「個人にとっての総合支援」を可能とすることが強く求められることとなります。職員一人丸となって、研鑽を深めたいと思います。皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。



は〜と・ピア 日常風景

(生活介護)



ユニットケアの取り組みによる一環で、本年度4月より開閉式のパーテーションを導入しました。各利用者の活動形式に応じて、臨機応変に利用されています。

つつじ ルーム

新しい活動として、地域を見回る「すくーる・ガード」が始まりました！活動時に着用しているベストは、地元小学校役員の方から直々に借用しているものです。



10月、那須方面まで2泊3日の郊外宿泊へ出掛けました。
りんどう湖ファミリー牧場ではキャンドル等の創作体験や、乗馬体験などを楽しみました。

だるま ルーム

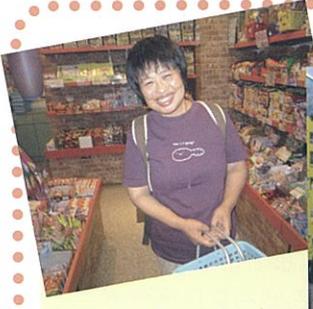
本年度は「利用者が食べたい物」を実際に作る調理活動が実施されています。これまでにスイート・ポテトやかき氷、けんちんうどんなど様々な料理に挑戦しました。



シビックセンターで開催された、「Bunkyo アンテナスポット」に自慢の商品を引っさげて参加！
活気ある接客の甲斐あって、各日好調な売り上げを記録しました。

9月、恒例行事の1つである原宿での「陶芸教室」が開催されました。初めて参加した方も既に経験済みの方も、作陶中の表情は常に真剣なものとなっていました。

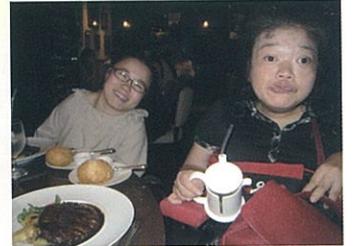




個別外出活動

つつじ・だるまの利用者が「行きたい場所」や「やってみいたいこと」等をリクエストし、少人数のグループで外出する活動が本格的に始まりました！

これまでの活動では映画鑑賞（有楽町・池袋）、舎人公園、新横浜ラーメン博物館など様々な場所に出掛けてきました。利用者が今まで得られなかった新しい経験や体験が、今回の活動を通じてどんどん増えてきています★



玉入れや大玉転がしなど、各競技で一生懸命汗を流す皆さんの姿がとても印象的でした。有志応援団による応援合戦振り付けも2年越しの披露となり、皆さんは練習の成果を存分に出していました♪

合同運動会

前年度の合同運動会は、開会式中の荒天によって中止となってしまいましたが、今回は文句なしの快晴となりました！



芋掘り大会

11月、千葉県富里市の「十倉厚生園」という施設からお誘いを受け、は〜と・ピア一行で芋掘りへ出掛けてきました。

この日の空は雲が多く肌寒さもありましたが、皆さん元気に芋掘りを楽しまれていました。土の汚れや疲れも気に掛けずに、帰路へつく頃には持ち切れない程のさつま芋が…(笑)。楽しかったですね。



短期保護事業

この事業は、文京区からの委託を受けて社会福祉法人文京槐の会が文京藤の木荘と動坂福祉会館で実施しています。文京区にお住まいの心身障害者(児)の介護に当たっているご家族が、介護を行うことが困難なときに利用できます。

◆利用の理由は？

理由によって、年間に利用できる時間が違います。
介護者の疾病・事故などによる入院・通院……………300 時間
介護者の出産……………348 時間
冠婚葬祭、学校行事、休養等……………200 時間
となります。

◆金額は？

自己負担額は、4 時間までは 400 円です。
それ以降は、1 時間ごとに 100 円が加算となります。
その他に、食事をする時は朝食 350 円、昼、夕食 550 円、
布団を利用した場合(宿泊、休養など)はリネン代 400 円の
実費が必要となります。

◆どういう手続きをすれば利用できるの？

事前に登録が必要です。
利用申請は利用希望日の 3 ヶ月前から申し込みを受け付けます。
利用申請は電話で、

●文京藤の木荘 (3943-4300)

●動坂福祉会館 (3821-1762) まで

ただし、定員の関係でお断りする事や調整させていただくこともあります。
予約はお早めに入れてください。(基本的に土、日、祝日も開館しています)

短研修報告

NPO 法人とともにネット主催後援会
「問題行動」そのわけは?!

講師・淡路こども園 岩崎 隆彦 氏

私たち支援者は、障がいを持った方々が地域で「主体的」に生活できる、環境作りが仕事です。しかしながらそのような目標からまだまだ遠い所におかれている人たちがいます。それは激しい行動障害を示す人たちです。じっと座ってられない、力任せに飛び跳ねる、車道に飛び出す、自分の頭を叩き続ける、指や腕を噛む、身体を激しく揺らす、泣いている子どもを見ると押し倒そうとする、食器をひっくり返す、生活のリズムが乱れて昼夜逆転する、などの行動が見られます。行動障害は、本人が生まれ持った問題ではありません。本人の理解や支援の関わりのある方によって作られたものです。

人間は、心が平穏な状態にあれば、「あえて自分を傷つける」「他人を困らせる・傷つける」ということは普通ではないはずですが。行動障害を示す人たちは、それだけ苦しい状況におかれていると考えられます。苦しい状況におかれると、本人は不快・不満・痛みなどを言葉で上手く伝えることができないため、直接的な行動で必死に伝えようとしています。攻撃的な行動は、人を傷つけようとするのではなく、自分の感じた怒りや痛みを訴えている行動と考えられます。また、自傷などの内省的行動は怒りや

苛立ちを打ち消そうとしている行動と考えられます。しかし、これらの行動に直面したとき、支援者が冷静に受け止めることは大変困難です。

では、行動障害の原因となる怒りや心の痛み、苛立ちが発生するにはどのような背景があるのでしょうか。学校、施設、家庭、グループホームなどにおいて、「障がいを克服する」「自立に向けてできることを増やす」ために熱心な指導・訓練を受け、それが大きなストレスになっている場合があります。声をかけても「目を合わせない」「つむく」「表情が強張る」「なかなか取り掛からない」などは、「とまどい」や「拒否の意思」があることを表しています。作業や課題を始めても、「進まない」「しきりに手を止める」「手元を見ない」などは、かなり我慢している兆候と見受けられます。スタッフが「○○させたい」「○○させない」など強い期待や要求を持っていると、本人の訴えがどの程度切実なものか、あるいは適度の我慢であるか否かを判断することは困難です。特に威圧的な態度で臨む人に対しては、自分の気持ちを率直に表すことができません。

結果的に課題や作業を行うことができても、「指示が分かっていた」「自分でできるようにになった」と一面的に解釈・評価してしまうことは大変危険です。支援者は、本人の表情、態度、行動から気持ちをくみ取り、弱い表出であっても精一杯の意思表示と認めて、本人が安心できるように対応することが大切です。本人が納得しているか否か、過度の我慢になっていないかを感じ取る「素朴で客観的な目」が求められます。こうした関わりを根強く積み重ねていくと、本人は自信を持って、「いや」という意思表示や自分の要求や気持ちを表せるようになっていきます。行動の背景にある苦しさを理解してもらえずに、「自閉症の特徴」「それが障がい」と決めつけられたり、叱りつけられたりしたら、本人はやりきれないでしょう。本人を取り巻く学校や施設と家族が、一緒に本人の状況を話し合い、調整する必要があります。なぜ場の違いによって行動に顕著な違いが生じるのか、その違いがどんな意味を持つのかについて十分な検討が必要となります。不本意な強要を止め、本人の本心や意思を尊重するという原点から関わりを見直す必要があります。本人の立場に立った率直な話し合いと対応ができれば、必ず落ち着くはずですが。

行動障害を示す人が、「必ず理解してもらえろ」という前向きな気持ちを持って地域生活を送ることがするためにもっとも大切なことは、「困ったときに安心できる人間関係が持てること」と、「本人の主体性を尊重し、本人の望んでいることを一緒に実現し、自分を肯定して生きていけるような援助」です。私たちは障がいのある人のより良い自立を支える支援を今後も創っていくかなければなりません。その中にある「行動障害を示す人の理解と支援は、一障がいをどのように理解するか」「人として生きる上で何を一番大切にするか」という「支援の本質を問う」きわめて重要な福祉的課題です。

(文責 サービス管理責任者 松下 功一)

くっしょん

居宅介護事業・移動支援事業

今年度より文京槐の会の新規事業として始まった居宅介護事業・移動支援事業「くっしょん」ですが、振り返ってみると反省と試行錯誤の連続でした。

一言で「外出」と言っても、当然のことではありませんが利用者さんの数だけ内容も対応も異なり、すでに槐の会を利用されている利用者さんたちでさえ、通所や短期保護での利用では見られなかった一面を知ること多々あり、従事する私たちにとっても毎日が発見と勉強の繰り返しです。利用者さんが楽しかったと思える時間が過ごせているか、希望にかなうものであるか、安全面での配慮等々、今後解決すべき点は山積していますが、障害のある人たちが地域に出て行き、活動の幅をひろげる一役を移動支援というサービスが、確実に担うものであると信じて、来年度もよりよいサー

ビスの充実と、従事する介助者の方たちにも移動支援の楽しさや、やりがいを感じて仕事をしてもらえる環境作りをめざしていきたくと思います。

くっしょんでは、障害のある方の登下校の支援や、いろいろな場所への外出、居宅介護での生活面での援助などを支援してくださる方を求めています！一年目ということもあり、介助者不足は否めず、頭の痛い問題です。興味をもたれた方、せっかく取ったヘルパー資格を活かしてみたい！と思われる方など、文京槐の会「くっしょん」で新しいスタートを切ってみませんか？

職員一同お待ちしております！



単純な木片が1000ピース入っているカプラという玩具です。創造を膨らませて、道路にしたり橋を造ったり、家を組み立てたり、職員と高い塔を造って高さを競ったりと職員を驚かすような作品を見せてくれました。



文京区知的障害者移動支援従事者養成研修 受講者募集

たとえどんな障害があっても、自分が慣れ親しんだ地域で自分らしい生活をおくることができる。それは、障害のある本人やその家族にとって切実な願いです。この願いをかなえるためには、さまざまな支援が必要となりますが、中でも、自分の思いで、自分の行きたいところに行く、そのことは、知的障害のある人たちにとっては取り立てて大切なことと言えます。しかし、現状では支援する制度があっても、支援する人が圧倒的に不足しているため、多くの人が支援を利用できずにいます。こうした状況を改善するため、この養成講座を開講することといたしました。

1. 主催

(社福)文京槐の会 (社福)太陽福祉協会 (社福)佑啓会

2. 研修場所(予定)

都立監察医療院研修室(文京区大塚4丁目21番5号)

3. 研修内容

講義(11時間)

実習(8時間)

・は〜と・ピア(大塚4-21-8)

・本郷福祉センター(本駒込4-35-15)

・大塚福祉作業所(大塚4-50-1)

4. 開催日程

2月19日(土)9:00~16:00

2月20日(日)9:00~15:00

講義受講後、原則2月末日までに1日の実習(期日は相談可)

5. 費用 3,000円

6. 問合せ

社会福祉法人文京槐の会 は〜と・ピア(担当:江澤)

電話:03-3943-4300

7. 申込締切日 平成23年2月16日(水)

クラブ・すてっぷ

平成22年を振り返って

ニュース その1

長期休暇中の定員が 7名となりました！

キャンセル待ちをしていた
だくことが特に多かった長期休暇中
の待機利用者対策として、一日5名とさせ
ていただいていた定員を夏休み期間より7名に
増員しました！それでも、キャンセル待ちをして
いただくことが多い現状がありますが、日々利用
される皆様楽しく安全にご利用くださることを
一番考えて、職員一同さまざまなアイデアを
凝らしたプログラムをご用意しております
ので、2011年もどうぞよろしく
お願いいたします！！



ニュース その2

移動支援事業 くっしょんの開始！

4月より移動支援事業
くっしょんが始まり、片道送迎の
みだったクラブ・すてっぷご利用の幅
がぐっと広がりました！4月以前は、平日
は学校迎えのみ、土曜日、長期休暇中は自宅
送りのみの片道送迎しか行っていませんでした
が、4月以降はクラブ・すてっぷではカバーし
きれていない平日の自宅送り、土曜日長期休
暇中の自宅迎えのサービスをくっしょんで
ご利用いただくことが可能となりまし
たので、興味がおありの方はぜ
ひご相談ください。

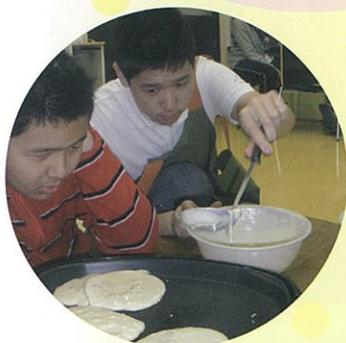


ニュース その3

新車購入！

クラブ・すてっぷの外出
等でも車を使用することが多く、
以前よりもう一台車があれば、という声
が上がっていたのですが、念願かなってつい
に新車が納車されました！

主に相談支援事業「あくせす」で使いますが、
雨降りの買い物、個別のニーズへの対応等に大変
役に立っています。皆様のご自宅への送りの際
にもこの自動車でうかがうことがあると思
います。職員一同事故無く安全運転で参
りますので、どうぞ末永く可愛が
ってください！



スタッフあいさつ



今年の3月の大学卒業と共に槐の会を卒業する
増田義之です。槐の会での勤務は2年と8ヶ月と
いう期間でしたが様々な方々と出会い、成長する
ことが出来ました。この経験をこれからは社会人
として必ず活かしていけると思っています。あり
がとうございました。

槐の会で丸二年間お世話になった本橋佑基です。
卒業が間近になっていく中で、大学生活の半分を
槐で過ごせたことが本当に自分自身の成長に繋
がっていたと感じています。これからは槐の会で
学んだことを活かしていければと考えています。
本当にお世話になりました。



動坂地域活動センター

フレンドルーム

フレンドルームってどんなところ？

就労が困難な在宅の知的障害のある方が通所されています。文化的活動や社会適応訓練等を通して地域への生活の幅を広め、自立を支援しながら生きがいを高めていただく事を目的としています。

こんなプログラムや活動を行っています

「国際交流を楽しもう」「料理教室」「フラワーセラピー」「音楽」「ステンドグラス」「レク＆ダンス」「編み物」「デッサン」「茶道」「パソコン」「陶芸」「プール」



国際交流を楽しもう

国際交流を目的とした様々な活動をしています。料理教室や簡単な英会話など行っています。毎回楽しみにしているプログラムです。



ステンドグラス

平面的なものや立体的な作品に取り組んでいます。



編み物

講師の方とベストやセーターを機械編みしたり、編み棒でマフラーや帽子、小物入れなど制作しています。



作品販売

自分達で制作した作品をアンテナスポット（シビックセンター）や「福祉の店」にも出品しております。ぜひお立ち寄り下さい。



外出行事

今年も観劇や美術館に出かけることも多いフレンドルーム。

劇団四季のサウンドオブミュージックも観に行きました。芸術的なものに触れる事も多く過ごしています。



えんじゅ祭り



今年も槐の会の皆さんとたくさんのお客さまを迎え、楽しい一日を過ごしました。監察医務院の研修室をお借りして、コーラスや相撲、ダブルダッチ



など練習を重ねたすばらしい歌声や技を披露していただきました。一緒に参加する人も居て、大変盛り上がりしました。



車輛購入のご寄付ありがとうございます

法人では、昨年から障害者相談支援事業を始めました。

当相談事業は、相談者が施設等に相談に向かなくても、自宅や勤務先で相談出来るよう、相談員が出向いて相談する「出前型」を目指しています。

そこで、相談員の足となる車輛を購



(写真は購入した日産マーチ)

入することになり、ご寄付を募りましたところ、橘高智光様、山田須賀様、有田勲様、佐鳥福祉基金様から心温まるご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。

当車輛は、相談支援以外の法人の各種事業にも活用させていただきます。

編集後記 年明け早々、厳しい寒さに、インフルエンザの流行…やっぱり冬だなあと、日々実感していました。そんな寒さにも負けず、スタッフ一同これからも日々邁進してまいります。今後もご支援のほどよろしく願いいたします。〔担当：北見忍・当村雪恵〕

社会福祉法人 文京槐の会 本部
〒112-0012 東京都文京区大塚 4-21-8
電話：03-3943-4300
FAX：03-3943-4330
ホームページ <http://www.enjunokai.com>
enju@tcn.catv.ne.jp



【文京槐の会】
平成3年3月に東京都より認可を受けた社会福祉法人です。
障害福祉サービス事業（生活介護）は～と・ピア
短期保護事業・自立生活訓練事業 藤の木荘、動坂福祉会館
放課後居場所対策事業 クラブ・すてっぴ 居宅介護事業・移動支援事業 くっしょん
相談支援事業 あくせす
地域生活支援事業（動坂地域活動支援センター） フレンドルーム を運営しています。



区立動坂福祉会館
〒113-0022
東京都文京区千駄木 4-8-14
電話：03-3821-4880
FAX：03-3821-8749